



## 平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 高橋カーテンウォール工業株式会社  
コード番号 1994 URL <http://www.t-cw.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 高橋 武治

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 市川 尚

TEL 03-3271-1711

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	6,473	△9.8	1,057	△21.3	1,073	△20.7	1,070	△19.1
27年12月期第3四半期	7,180	12.7	1,344	44.5	1,353	44.9	1,323	43.0

(注)包括利益 28年12月期第3四半期 1,057百万円 (△20.4%) 27年12月期第3四半期 1,328百万円 (46.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	120.33	—
27年12月期第3四半期	148.76	148.50

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第3四半期	10,596	6,418	60.6	727.93
27年12月期	11,907	5,690	47.8	639.17

(参考)自己資本 28年12月期第3四半期 6,418百万円 27年12月期 5,689百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	10.00	—	20.00	30.00
28年12月期	—	10.00	—		
28年12月期(予想)				10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	△17.7	1,150	△35.7	1,150	△35.8	1,350	△22.3	153.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日(平成28年11月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は3ページ、2. サマリー情報(注記事項)に関する事項「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期3Q	9,553,011 株	27年12月期	9,553,011 株
28年12月期3Q	735,863 株	27年12月期	651,263 株
28年12月期3Q	8,899,521 株	27年12月期3Q	8,895,576 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本の経済は、政府・日銀の各種政策により企業収益や雇用環境の改善傾向は持続しているものの、新興国や資源国の景気減速や英国のEU離脱問題などに伴う世界経済の下振れリスクへの根強い懸念を背景に、為替の円高基調・株式市場の低迷が続くなど、先行き不透明な状況が続いております。

建設業界においては、ゼネコンの最高益更新が目につき、来年、オリンピック需要の盛り上がりが見込まれるものの、足元の建設需要が落ち込んでおり、サブコン各社においては対応に苦慮しています。

PCカーテンウォール業界も当面、仕事量はそれほど多くないため、各社、工場の稼働率がそれほど高まっておらず、製造する案件の確保が至上命題となっています。その中で、当社は今期の生産量はやや低下するものの、来年度プロジェクト増加に備え、4工場体制を維持する所存です。また、工場の効率化推進、新商品の開発により、収益力の維持向上、マーケットの拡大を図ってゆきます。

当第3四半期連結累計期間における売上高は64億73百万円(前年同四半期比9.8%減)、営業利益10億57百万円(前年同四半期比21.3%減)、経常利益10億73百万円(前年同四半期比20.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益10億70百万円(前年同四半期比19.1%減)となりました。

なお、受注高は66億56百万円(前年同四半期比1.3%減)、受注残高は108億53百万円(前連結会計年度末比1.7%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ①PCカーテンウォール事業

当第3四半期連結累計期間においては、工場稼働率が低い時期が続いたため、売上、利益とも低調に留まりました。

当セグメントの売上高は61億41百万円(前年同四半期比9.4%減)、セグメント利益は10億40百万円(前年同四半期比23.8%減)となりました。

## ②アクア事業

当第3四半期連結累計期間においては、学校関連及びフィットネスクラブのプールの新設・改修の受注が堅調に推移しております。

当セグメントの売上高は2億60百万円(前年同四半期比28.6%減)、セグメント利益は2百万円(前年同四半期は20百万円のセグメント損失)となりました。

## ③その他

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

当セグメントの売上高は71百万円(前年同四半期比88.9%増)、セグメント利益は11百万円(前年同四半期は1百万円のセグメント損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は105億96百万円と前連結会計年度末と比較して13億10百万円の減少となりました。これは主に未成工事支出金が10億72百万円、電子記録債権が5億4百万円及び受取手形・完成工事未収入金等が3億86百万円減少したことによるものであります。

## ②負債の状況

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は41億78百万円と前連結会計年度末と比較して20億38百万円の減少となりました。これは主に支払手形・工事未払金等が1億40百万円、未成工事受入金が12億33百万円及び長期借入金が3億44百万円減少したことによるものであります。

## ③純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は64億18百万円と前連結会計年度末と比較して7億28百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により10億70百万円増加したことと、配当金の支払いにより2億67百万円減少したことにより8億3百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年8月10日に公表いたしました連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成28年11月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	1,190,329	1,626,526
受取手形・完成工事未収入金等	1,015,816	629,182
電子記録債権	1,533,788	1,028,871
未成工事支出金	3,470,425	2,397,506
その他のたな卸資産	55,610	61,015
その他	56,389	114,996
流動資産合計	7,322,360	5,858,099
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	568,303	552,915
土地	1,789,691	1,852,949
その他(純額)	283,326	410,525
有形固定資産合計	2,641,321	2,816,390
無形固定資産	27,783	43,584
投資その他の資産		
投資有価証券	203,730	184,605
投資不動産(純額)	156,027	126,397
保険積立金	780,289	815,802
退職給付に係る資産	106,430	89,449
その他	698,053	691,080
貸倒引当金	△28,917	△28,917
投資その他の資産合計	1,915,615	1,878,418
固定資産合計	4,584,720	4,738,393
資産合計	11,907,080	10,596,493
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	838,941	698,850
短期借入金	990,431	982,141
1年内償還予定の社債	145,000	122,500
未成工事受入金	1,795,951	562,850
引当金	59,252	117,670
その他	487,704	263,030
流動負債合計	4,317,280	2,747,042
固定負債		
社債	382,500	260,000
長期借入金	898,811	554,277
役員退職慰労引当金	393,832	410,378
その他	224,568	206,568
固定負債合計	1,899,711	1,431,224
負債合計	6,216,991	4,178,266

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,283,171	3,283,363
利益剰余金	2,382,099	3,185,889
自己株式	△119,487	△181,265
株主資本合計	5,645,782	6,387,987
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,969	30,239
その他の包括利益累計額合計	43,969	30,239
新株予約権	336	-
純資産合計	5,690,088	6,418,226
負債純資産合計	11,907,080	10,596,493

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
完成工事高	7,180,757	6,473,927
完成工事原価	5,328,342	4,899,374
完成工事総利益	1,852,414	1,574,552
販売費及び一般管理費	508,105	516,876
営業利益	1,344,309	1,057,675
営業外収益		
受取利息	350	407
受取配当金	1,494	1,275
投資有価証券売却益	1,926	-
保険解約返戻金	558	529
投資不動産賃貸料	7,262	6,419
受取家賃	9,930	9,947
鉄屑売却収入	19,725	11,872
その他	11,686	16,831
営業外収益合計	52,934	47,284
営業外費用		
支払利息	27,509	20,901
不動産賃貸費用	3,113	3,058
その他	13,481	7,506
営業外費用合計	44,103	31,466
経常利益	1,353,140	1,073,494
特別利益		
固定資産売却益	49	-
特別利益合計	49	-
特別損失		
固定資産売却損	8,461	311
固定資産除却損	18,210	2,622
特別損失合計	26,672	2,933
税金等調整前四半期純利益	1,326,517	1,070,560
法人税、住民税及び事業税	7,786	5,833
法人税等調整額	△4,607	△6,115
法人税等合計	3,178	△282
四半期純利益	1,323,338	1,070,842
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,323,338	1,070,842



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	1,323,338	1,070,842
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,769	△13,730
その他の包括利益合計	4,769	△13,730
四半期包括利益	1,328,108	1,057,112
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,328,108	1,057,112

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,778,058	364,780	7,142,839	37,918	7,180,757	—	7,180,757
セグメント間の内部売 上高 又は振替高	—	—	—	4,575	4,575	△4,575	—
計	6,778,058	364,780	7,142,839	42,493	7,185,333	△4,575	7,180,757
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	1,365,035	△20,500	1,344,535	△1,418	1,343,116	1,192	1,344,309

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額1,192千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,141,884	260,404	6,402,288	71,638	6,473,927	—	6,473,927
セグメント間の内部売 上高 又は振替高	—	—	—	3,000	3,000	△3,000	—
計	6,141,884	260,404	6,402,288	74,638	6,476,927	△3,000	6,473,927
セグメント利益	1,040,190	2,093	1,042,284	11,791	1,054,075	3,600	1,057,675

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益の調整額3,600千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。